



中村小だより

練馬区立中村小学校
(3990) 4241
令和5年度 7月号

話すこと・聞くこと

校長 中村 直人

紫陽花の花が美しく映える今日この頃、梅雨の合間の暑さに夏本番の兆しを感じます。

1学期が始まって3か月が過ぎ、4月に入学した1年生も学校に慣れ、明るく元気に学校生活を送っています。そんな1年生の子供たちを見ていると、自分の話を聞いてもらいたくて仕方がないといった様子で、担任の先生の周りに集まっている姿がよく見られます。子供たちは自分の話を最後まできちんと聞いてもらえると、なにやらとても満足し自信に満ちた顔つきで、またある時は元気を取り戻しほっとした顔つきで戻っていきます。もちろん、時間には限りがあるのでいつまでも聞いているわけにはいきませんが、そんな子供たちの「話したい」という意欲を大切にしながら、子供たちの話す力・聞く力を高めていきたいものです。

本校の学校経営目標を実現するための具体策の一つに「音声言語による表現力の向上を図る工夫」という項目があります。その中心となるのが、国語科の「話すこと、聞くこと」の学習の充実です。スピーチ等の一人で話すこと、対話（二人）、グループでの話し合い、学級全体での話し合いの力を高めるための工夫をして、日々の教育活動を進めています。校内研究でも、国語科の「話し合い」に焦点を当て、教員が活発な協議を重ねながら授業研究を続けています。

学習指導要領には、学年に応じた「話すこと、聞くこと」の目標が定められています。話し方・聞き方の指導など目標達成のための方法はいろいろありますが、特に大切なことは、子供たちに「話す意欲あるいは話す必要感」と「聞いてもらえる安心感」をもたせることです。話す力・聞く力は一体となって育っていきます。子供たちが「話したい」と思えるような学習場面を意図的に設定して指導するとともに、しっかり聞いてもらえたという満足感を味わわせるために聞き手を育てることが重要なのです。本校では、全学級がこのことを意識して指導を続けている成果が、子供たちの姿に少しずつ表れてきています。まだ十分とは言えませんが、引き続き子供たち一人一人への配慮をしながら、指導を続けていきます。

そして、私たち大人も、日常生活の中で子供たちの話をよく聞くことを大切にしていきたいものです。話す力・聞く力は、しっかり聞いてもらうことの積み重ねで育っていくということを忘れずに。

《7月の生活目標》『学校をきれいにしよう！』

夏休みまであとわずか。子供たちは日ごとに“わくわく”する気持ちが増してきている様子です。

夏休みを迎える前に、自分たちの教室・学校をきれいに清掃したり、自分の用具を計画的に

《給食費の集金について》

7月は、給食費の引き落としです。各学年に配布されている「給食費のお知らせ」をご覧になり、引き落とし額をご確認ください。引き落とし日は、7月5日(水)となっております。手数料もかかります。余裕をもって口座に入金してください。よろしくお願いいたします。

～芝生だより～

6月14日(水)に4年生の総合的な学習の時間を使って芝生に関する授業を行いました。NGKの皆さんとPTA環境委員の皆さんをお招きして、砂地が目立ってきている校庭の北側とろくぼくの前を中心に夏芝の補植作業をしました。ご協力いただいた皆様ありがとうございました。2学期の運動会に向けてしっかり根付いてくれるとよいですね。